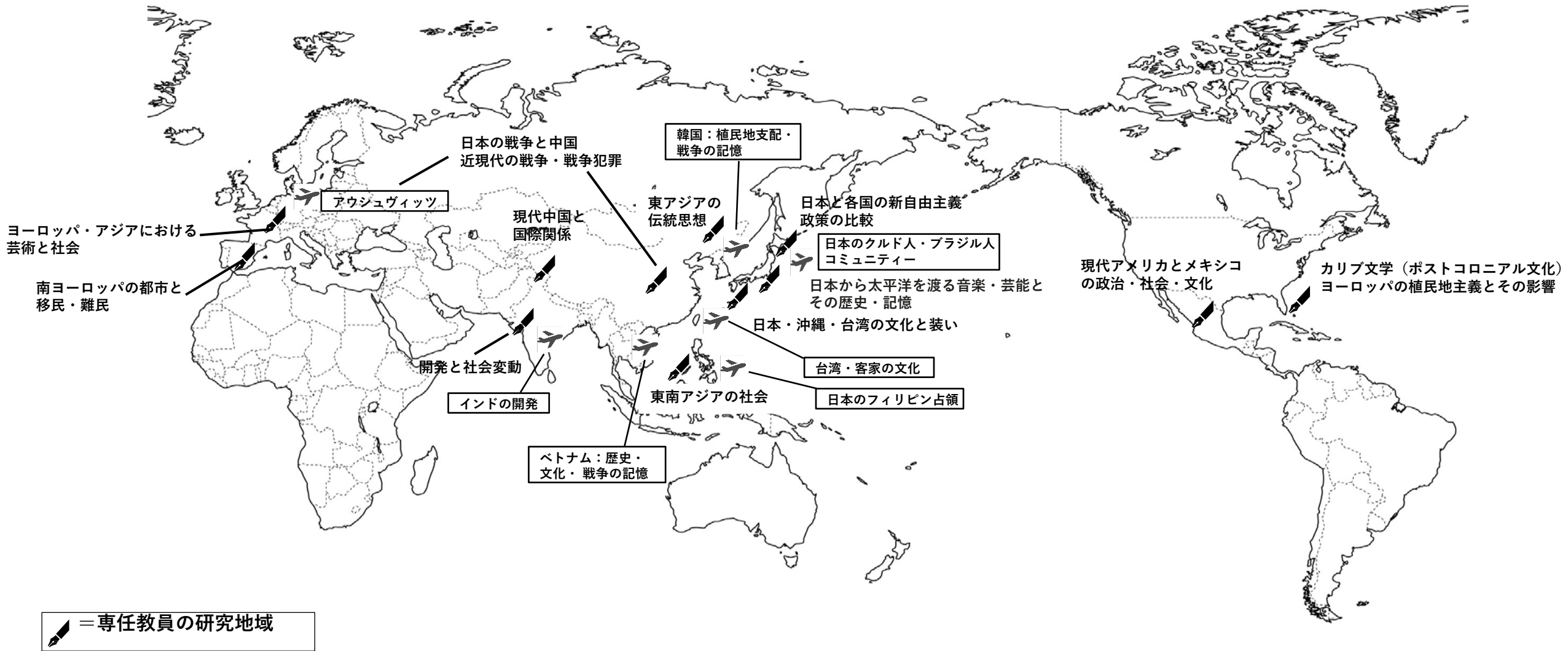


比較文化学科の紹介



【比較文化学科の教育の目標】

日本および世界各地の文化はどのように育まれ変化してきたのか、その過程で文化と文化はどのように出会い・どのような関係を形づくってきたか、現代世界の成り立ちや構造・秩序はそこにどのような影を落としているか。比較文化学科はこのような問いを学際的に追究する学科です。学生のみなさんには、異なる文化的背景をもつ人々の共生・共存を可能にする理念や方法を探し求めて、新しい文化の創造の担い手になってもらいたいと考えています。

【カリキュラムの特徴】

- ひとりひとりの学生に目が届く、丁寧な教育を行っています。
 - 1年次から少人数のゼミがあり、大学での勉強の仕方を身につけられます。
 - 2年次には、専門的な文献（原書・資料）の読み方を訓練する講読が必修です。
 - 3年次以降は専門のゼミに所属し、4年間の学習の集大成としての卒業論文の執筆に向け、自ら設定したテーマを追究します。
- 英語に関しては、学科の専門科目として、読解・会話の両方を学びます。
- 講義科目では、現代世界／社会を理解するための基盤となる理論的な講義の他、世界各地の文化を学ぶ講義があります。

【免許・資格】

取得できる資格には、次のものがあります。図書館司書、博物館学芸員、社会教育主事、日本語教員養成課程修了証、ジェンダー研究プログラム修了証

【就職・進学】

公務員・民間企業に幅広く就職しています。本学および他大学（国公立）の大学院にも多くの卒業生が進学しています。